



### 1. 先週の市場動向

<株式>	先々週末 2020/5/1	先週末 2020/5/8	前週比
NYダウ (米国)	23,723.69	24,331.32	2.56%
日経平均株価 (日本)	19,619.35	20,179.09	2.85%
DAX指数 (ドイツ)	10,861.64	10,904.48	0.39%
FTSE100指数 (英国)	5,763.06	5,935.98	3.00%
上海総合指数 (中国)	2,860.08	2,895.34	1.23%
香港ハンセン指数 (中国)	24,643.59	24,230.17	▲1.68%
ASX指数 (豪州)	5,245.89	5,391.08	2.77%
MSCI AC アジア (除く日本)	755.98	752.05	▲0.52%
<リート>	先々週末	先週末	前週比
グローバル	488.35	496.60	1.69%
アジア・パシフィック (除く日本)	882.67	893.88	1.27%
<債券> (利回り) (%)	先々週末	先週末	前週比
米国10年国債	0.612	0.683	0.071
日本10年国債	▲0.019	▲0.001	0.018
ドイツ10年国債	▲0.586	▲0.537	0.049
英国10年国債	0.248	0.235	▲0.013
<為替>	先々週末	先週末	前週比
ドル円	106.91	106.65	▲0.24%
ユーロ円	117.33	115.50	▲1.56%
ユーロドル	1.0981	1.0839	▲1.29%
豪ドル円	68.62	69.68	1.55%
<商品>	先々週末	先週末	前週比
商品 (CRB指数)	117.63	124.74	6.05%
原油先物価格 (WTI)	19.78	24.74	25.08%

### 【先週の市場の振り返り】

<株式>  
主要国の株式市場は、欧米で新型コロナ対策の都市封鎖が徐々に緩和され、経済活動の再開が始まっていることなどを背景に概ね上昇しました。米国株式市場は、経済活動の再開期待や米中関係悪化懸念が和らいだことなどを好んで上昇しました。米国の失業率は戦後最悪の水準まで悪化しましたが、特に悪材料視されませんでした。NYダウは2.56%上昇しました。日本株式市場は、2日間の取引となりましたが、欧米での段階的に経済活動を再開させる動きや米国でナスダック総合指数が昨年末の水準を回復したことなどを好んで、日経平均株価は20,000円を回復し、2.85%上昇しました。欧州株式市場では、段階的に経済活動を再開させる動きや中国の貿易統計などが好感され、DAX指数は0.39%上昇、FTSE100指数は3.00%上昇しました。中国株式市場は、米中対立が和らいだことなどを好んで、上海総合指数は1.23%上昇した一方、香港ハンセン指数は1.68%下落しました。

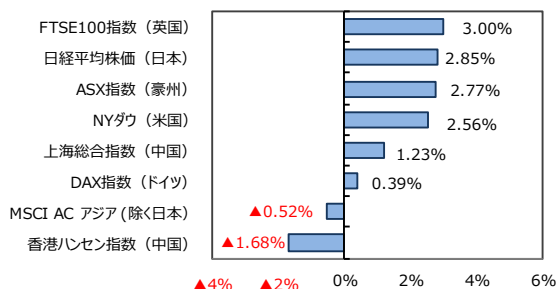
<リート>  
グローバル・リートは米国や欧州などの株価上昇を受け1.69%上昇しました。

<債券>  
米国の10年国債利回りは、株高や米中間の緊迫関係緩和のほか、米国で経済活動の制限が緩和されるとの見方などから0.071%上昇しました。日本、ドイツの長期金利も上昇しました。

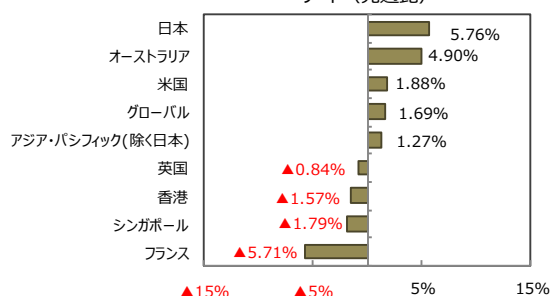
<為替>  
円相場は、対ユーロではドイツ連邦憲法裁判所が5日、欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和策について一部違憲だと判断し、不透明感が高まったことなどから円は1.56%上昇しました。対米ドルでも上昇しました。

<商品>  
原油価格は米国で経済活動が再開し始め、エネルギー需要が持ち直すとの期待などから、25.08%上昇しました。

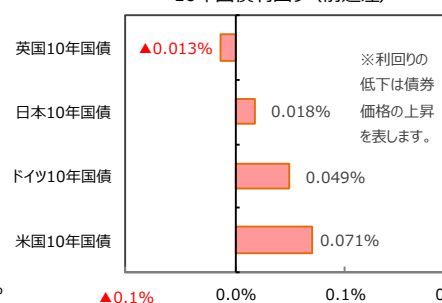
株式 (前週比)



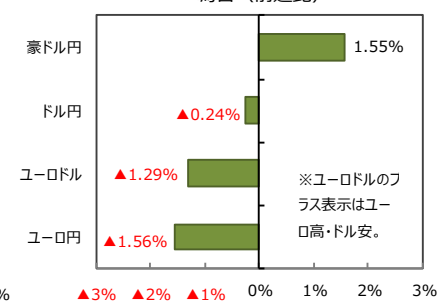
リート (先週比)



10年国債利回り (前週差)



為替 (前週比)



(出所) FactSet, Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



### 2. 先週のアジア・オセアニア株式・リート市場

#### 【国・地域別の株価指数（現地通貨ベース）、為替レート】

国・地域	先々週末 2020/5/1	先週末値 2020/5/8	前週比
MSCI AC Asia (除く日本)	755.98	727.46	▲3.77%
香港 (ハンセン指数)	24,643.59	24,230.17	▲1.68%
シンガポール (ST指数)	2,624.23	2,591.88	▲1.23%
台湾 (加権指数)	10,992.14	10,901.42	▲0.83%
韓国 (KOSPI指数)	1,947.56	1,945.82	▲0.09%
タイ (SET指数)	1,301.66	1,266.02	▲2.74%
インドネシア (ジャカルタ総合指数)	4,716.40	4,597.43	▲2.52%
インド (SENSEX指数)	33,717.62	31,642.70	▲6.15%
オーストラリア (S&P/ASX200指数)	5,245.89	5,391.08	2.77%
為替レート (対円)			
国・地域	先々週末	先週末値	前週比
香港ドル	13.789	13.765	▲0.18%
シンガポールドル	75.528	75.498	▲0.04%
台湾ドル	3.595	3.568	▲0.76%
韓国ウォン (100ウォン当たり)	8.728	8.740	0.14%
タイバーツ	3.296	3.312	0.48%
インドネシアルピア (100ルピア当たり)	0.710	0.715	0.66%
インドルピー	1.424	1.411	▲0.86%
オーストラリアドル	68.622	69.683	1.55%

(注) 為替の変化率がプラスの場合は各国通貨高・円安、マイナス▲の場合は各国通貨安・円高。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

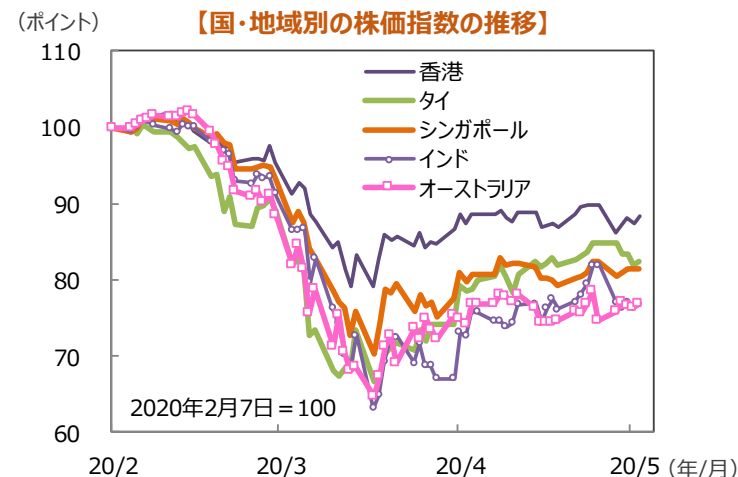
#### 【国・地域別のREIT指数（配当込み、現地通貨ベース）】

国・地域	先々週末	先週末	10年国債 利回り	配当 利回り
	2020/5/1	2020/5/8		
アジア・パシフィック (除く日本)	882.67	893.88	1.27%	5.98%
香港	808.55	795.86	▲1.57%	0.72%
シンガポール	649.96	638.33	▲1.79%	0.87%
オーストラリア	646.05	677.70	4.90%	0.89%
グローバル	488.35	496.60	1.69%	5.30%
米国	1,130.44	1,151.68	1.88%	0.68%
英国	76.77	76.12	▲0.84%	0.24%
フランス	335.07	315.93	▲5.71%	▲0.04%
日本	389.08	411.48	5.76%	▲0.00%

(注) S&P REIT指数の国・地域別指数（配当込み、現地通貨ベース）。

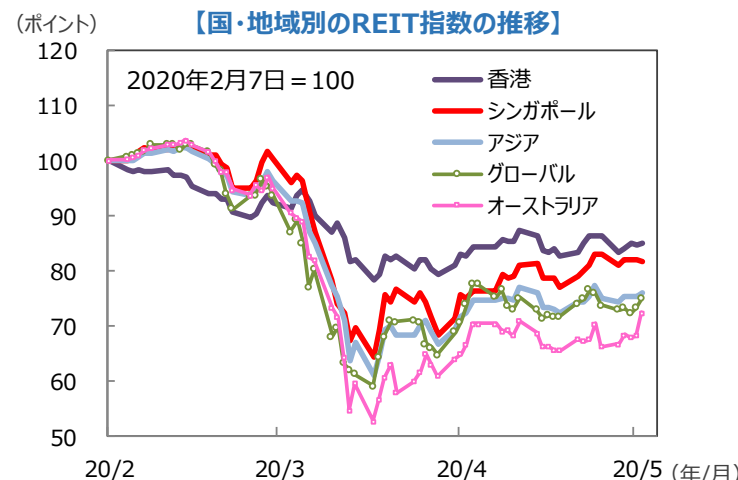
(出所) FactSet、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

#### 【国・地域別の株価指数の推移】



(注) データは2020年2月7日～2020年5月8日。グラフの各国・地域別の株価指数は表と同じ。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

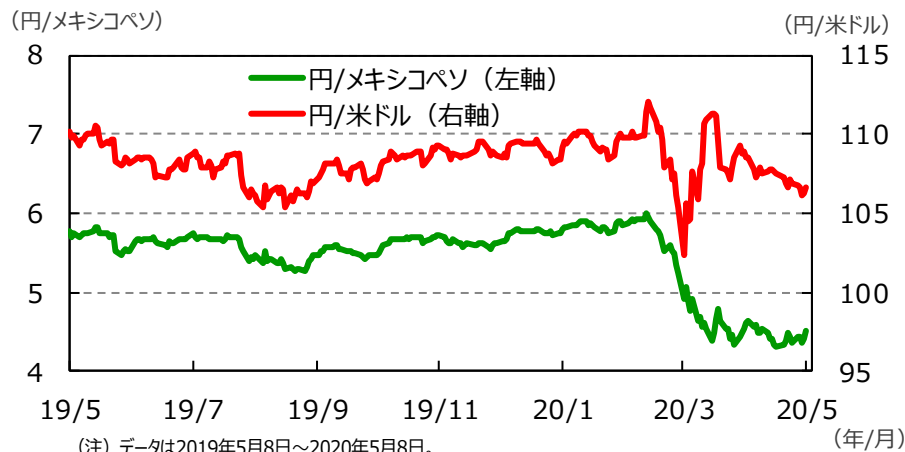
#### 【国・地域別のREIT指数の推移】



(注) データは2020年2月7日～2020年5月8日。S&P REIT指数の国・地域別指数（配当込み、現地通貨ベース）。アジア：アジア・パシフィック（除く日本）。  
(出所) FactSet、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



### 3. 先週のメキシコペソ市場



	2020/5/8	2020/5/1	2020/4/30
円/メキシコペソ	4.51	4.35	4.43
メキシコペソ/米ドル	23.65	24.58	24.17
WT I 原油先物	24.74	19.78	18.84
5年債利回り (%)	5.08	5.51	5.51
メキシコ政策金利 (%)	6.00	6.00	6.00

#### 騰落率

	前週比	前月末比	前年末比
円/メキシコペソ	3.49%	1.65%	▲ 21.49%
メキシコペソ/米ドル	3.93%	2.22%	▲ 19.97%

(注1) 円/メキシコペソと円/米ドルの単位は円、メキシコペソ/米ドルの単位はメキシコペソ。

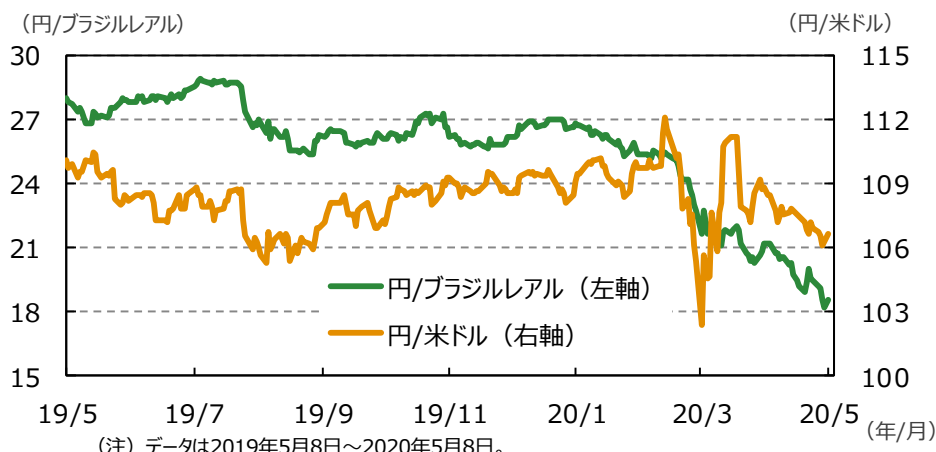
(注2) メキシコペソ/米ドルの騰落率はメキシコペソの対米ドルでの騰落率。

(注3) WTI原油先物価格の単位は米ドル。

(注4) 前週比は2020年5月1日から2020年5月8日まで、前月末比は2020年4月30日から2020年5月8日まで、前年末比は2019年末から2020年5月8日まで。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### 4. 先週のブラジルレアル市場



	2020/5/8	2020/5/1	2020/4/30
円/ブラジルレアル	18.61	19.49	19.54
ブラジルレアル/米ドル	5.735	5.487	5.487
鉄鉱石	87.18	83.84	83.84
ブラジル政策金利 (%)	3.00	3.75	3.75

#### 騰落率

	前週比	前月末比	前年末比
円/ブラジルレアル	▲ 4.48%	▲ 4.73%	▲ 31.02%
ブラジルレアル/米ドル	▲ 4.33%	▲ 4.33%	▲ 29.72%
鉄鉱石	3.98%	3.98%	▲ 4.75%

(注1) 円/ブラジルレアルと円/米ドルの単位は円、ブラジルレアル/米ドルの単位はブラジルレアル。

(注2) ブラジルレアル/米ドルの騰落率はブラジルレアルの対米ドルでの騰落率。

(注3) 鉄鉱石はシンガポール取引所の鉄鉱石先物価格 (米ドル)。

(注4) 前週比は2020年5月1日から2020年5月8日まで、前月末比は2020年4月30日から2020年5月8日まで、前年末比は2019年末から2020年5月8日まで。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成





### 5. 今週の主な注目材料

日付	米国	日本	欧州	アジア・オセアニア・その他
5/11 (月)				
5/12 (火)	4月消費者物価指数(CPI)	3月景気先行・一致CI指数		中国4月生産者物価指数 (PPI) 、CPI
5/13 (水)		3月国際収支 4月景気ウォッチャー☆	英国1-3月期GDP ユーロ圏3月鉱工業生産	
5/14 (木)				
5/15 (金)	4月小売売上高☆ 4月鉱工業生産 5月ミシガン大学消費者センチメント指数		ドイツ1-3月期GDP ユーロ圏3月貿易収支 ユーロ圏1-3月期GDP☆	中国4月鉱工業生産・小売売上高・固定資産投資☆
☆ 今週の注目点	景気や金融政策を占う上で4月小売売上高などが注目されます。	景気動向を占う上で4月景気ウォッチャーなどが注目されます。	ユーロ圏の今後の景気動向を占う上でユーロ圏1-3月期GDPなどが注目されます。	中国の今後の景気動向を占う上で中国4月鉱工業生産・小売売上高・固定資産投資などが注目されます。

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

弊社マーケットレポート

検索!!

先々週の注目の「マーケット・デイリー」

2020年4月30日 FRBは異例の金融緩和策を維持 (2020年4月)

2020年4月27日 新型コロナの影響で大幅に下落したBDC

先週の「マーケット・ウィークリー」

2020年5月7日 先週のマーケットの振り返り (2020/4/27-5/6)

先月の「マーケット・マンスリー」

2020年5月8日 先月のマーケットの振り返り (2020年4月)

先々週の注目の「マーケット・キーワード」

2020年5月1日 『原油価格下落』はプラス? マイナス?



## 【重要な注意事項】

### 【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

#### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 **上限3.85%（税込）**
  - ・・・換金（解約）手数料 **上限1.10%（税込）**
  - ・・・信託財産留保額 **上限1.75%**

- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 **上限年 3.905%（税込）**

- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

【ご注意】上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友DSアセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ず事前にご覧ください。

投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

〔2019年12月30日現在〕

### 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。